

■久米通賢(栄左衛門) 洋学者、技術者。実業にも役立つ多くの機械や装置を開発し、塩田開拓などで藩財政改革にも功績。

くめみちかた

1780= 讃岐国大内郡馬宿村で、高松藩の舵師で農業を兼ねる喜兵衛の子に生まれる。

幼時から手先が器用で、

田沼意次失脚1786= 6歳 : 大坂見物中、時計屋の修理代が高くて困っていた客に同情し、安価に修理したという逸話が残る。

初の横綱・・・1789= 9歳 :

松平定信引退1793=13歳 :

古事記伝・・・1798=18歳 : 同郷の伊藤南岳とともに、大坂の暦学者間重富に入門、

器用さに加えて、科学的知識を身に付け、

一九膝栗毛始1802=22歳 : 父が死去したため、帰国して家を継ぐ。

げんろ報復・1806=26歳 : 藩命による領内の海岸と街道の測量を、自ら製作した測量器械を用いて行い、

つし船狼藉・1807=27歳 : 藩儒中山城山から「武備志」の教えを受け、水軍流のうち「全流」を研究して、兵法や海防についてまとめた「戦船作積覚」を藩主に献上。

フェトン号事件 1808=28歳 : 伊能忠敬の讃岐測量に際して、藩の使者として案内役をつとめる。

浮世風呂・・・1809=29歳 : 土分(天文測量方)に取り立てられ、

ゴロブコン拿捕 1811=31歳 : 御茶道並(技術学問にすぐれた者への待遇)になり、久米姓を受ける。

銃砲発射機構の改良に努力し、

黒住教・・・1814=34歳 : 「武備志」に図説された諸葛孔明考案といわれる器械をもとに、輪燈佩銃(歯車式撃発銃)を発明し製造。

伊能測量終・1816=36歳 : 新式の農業揚水機「養老の滝」を開発、その模型をもって、大坂で宣伝、

杉田玄白没・1817=37歳 : 続いて江戸浅草で宣伝興業。

水野忠成老中1818=38歳 :

この間、鉄砲の製作・改良に努め、

シボム鳴滝塾1824=44歳 : 風砲(空気銃)を製造。藩財政の立直しのため、砂糖製造業者の保護、坂出塩田の築造、藩外からの輸入商品の制限、藩内の節約、役人の減員などの策を献じた。

異国船打払令1825=45歳 :

・・・1826=46歳 : *それにより、御普請奉行仮役を命ぜられ、坂出塩田の築造を開始。また、請われて大漏水に悩む別子銅山の改修を行う。同じ頃、淀川の修築にも従う。

シボム追放・1829=49歳 : 私財も投じて、坂出塩田完工、塩田115町歩などを開く。その後は貧困の中で研究を続ける。

富籤流行・・・1830=50歳 : この功績をたたえて、藩主により顕彰碑が建てられた。

高島砲術・・・1834=54歳 :

・・・1836=56歳 : 請われて、遠州今切湊の改修にとりかかるが、

大塩平八郎乱1837=57歳 : 大塩平八郎の乱があつて、資金集めができなくなり、延期となる。

適塾オープン・1838=58歳 : 藩命を受けて、ドンドロ付木(オランダ製マッチ)を研究し、

蚕社の獄・・・1839=59歳 : その製造に成功。

以降これを発火装置に応用した多くの雷管式銃などを製作して、近江国の鉄砲鍛冶国友藤兵衛(国友)とならび称せられた。さらに大砲製作に努力し、発貢、無敵銃、百敵砲などの作品を遺す。

勅進帳初演・1840=60歳 : *武器の製作方法や鉄砲の歴史を書いた「大成匱銘」を著して、

天保改革始・1841=61歳 : 没した。